

## 復興に関する住民懇談会（町野地区）

### 議事要旨

日 時 令和8年1月17日(土) 13:30～14:40

場 所 町野支所 2F ホール

出席者 住民側：50名

行政側：輪島市 坂口市長、中山副市長、小川教育長、中前総務部長、山本企画復興部長、川端市民生活部長、河崎健康福祉部長、廣岡産業部参事、福尾建設部長、田川建設部技監、木下教育部長、上畠まちづくり推進課長

事務局：田中復興推進課長、一本松

#### ① 市長挨拶

市 長：お集まりいただき感謝する。震災から3年目に入り、今年が大切な年であり復旧復興を目に見える形で進む年にしたい。これまでの2年間、全国から支援をいただき進めてきたが、復旧・復興がなかなか進んでいないという思いもお持ちだと思う。

これまで応急的な復旧や仮設住宅の整備を行ってきたが、災害に強いインフラ整備のための本格的な復旧のための設計・測量が必要であり、測量・設計費だけで役300億円かかっている。全国から支援をいただき設計を行ってきたが、3月までに設計が7割方終わる見込みであり、設計が完了して工事着工の見込みができているものが2割になっている。地元事業者だけでは足りずに入札不調もあり、県外からの工事事業者応援もいただきながら発注していくところである。

4月以降、道路、河川といったインフラのほか、災害公営住宅の建設の設計にかかっており、工事に着手する。9年度には入居できるよう、入居申し込みは今年5月を予定しているので皆さんもどうされるか考えてほしい。

一方、ただ震災前の元に戻すだけではなく、新たな事業にも取り組んでおり、人口流出の中ではあるが、夢を持てるような新しい事業について企業の皆さんにもご協力頂き、今年新しい会社もできつつある。とにかく震災前よりも暮らしやすく豊かになるように全力で取り組んでいきたい。

#### ② 復興への取組内容の説明

（配付資料に基づき、インフラ復旧、住宅再建、産業・生業の再興、医療・福祉体制、学校再編等、現時点の復旧・復興計画と進捗状況について説明を行った。）

#### ③ 意見交換・質疑応答

桶戸・住民：地震と集中豪雨により、山から水が流れてきており、住宅や畑が湖のようになっている。排水溝を外してほしいといったができないといわれており、直してもらいたい。

廣岡産業部参事：話は伺っているので現地確認させていただき何らか対策したい。

広江・住民：p2の災害公営住宅について、東部地区は128戸とのことだが、東部だと南志見・町野かと思われ、昨年5月に公開された災害公営住宅整備方針では町野が90戸だったと思う。今回の128戸の内訳は。

上島まちづくり推進課長：東部地区については、町野地区のJA町野の跡地に60戸、町野町野第二団地は32戸、合計92戸を予定している。また、南志見地区が36戸である。

広江・住民：plについて、生活環境悪化を防ぐ防草シートはいつまでの期間受け付けていただけなのか。春先にかけて草が生い茂ることになる中、二次避難で仮設には残っておられない方にご連絡を差し上げたいとおもっているが、いつまで対応可能か。

市 長：令和8年度は大丈夫。状況を見て期間を延ばしていきたい。

広江・住民：一昨年7月から去年の1月まで仮設住宅にいたが、退去後は状況がわからない。コミュニティ持続型復興住宅（譲渡型）は町野地区で要望があったのか。

市 長：コミュニティ持続型は市全体としてもゼロ。メリット・デメリットを教えるという問合せはあった。集落で5戸以上まとまって、というのと、10年後に1/4相当で買い取ることが国などからの条件とされた。ただ、災害公営住宅の建設は2,000万円で作れるかと思っていたところ、今は4,000万円／軒かかる状況で、そうすると個人負担が1,000万円必要になるということになり、そういう状況もあって今のところ申し込みはゼロである。

広江・住民：東大野の第2仮設住宅の恒久化は可能なのか。また、集落ごとにまとめることは可能なのか。

市 長：戸数は先ほどの答弁のとおり32戸。集落ごとに希望あればまとめていくことも可能。

広江・住民：年寄りも多く、出不精になってしまう中、コミュニティが取れなくなるのを懸念。

市 長：5月から入居希望を聞くので、その際に地域ごとのまとまりなどにも配慮したい。

広江・住民：市外に出て避難にされている方が災害公営住宅に入居は可能か。

市 長：それは可能である。仮設住宅に入ることも、災害公営住宅に入ることも可能である。

広江・住民：戻ってくる方、家の状況などを見に来たりして、ちらほら出てきているので、今聞いた情報も流していきたい。

広江・住民：広江本町は防犯と街灯がネック。街灯が少なくなっている。これまでは47世帯いたが、現在は仮設住宅に17世帯、従来の場所に8世帯、市外が22世帯となっている。そのため、街灯維持費用がかかる状況であり、一旦切斷すると再開にも費用がかかる。電球取り替えも負担。昨日、北陸電力に相談してどうするかを検討している。仮設住宅も自治会で検討しており、広江の自治会とは異なり継続的な運営が厳しくなっているため、検討してもらいたい。

市 長：震災で世帯数が減り、街灯維持のために電気代の補助を昨年から行っている。設置に関しては通常の補助金でやれるので、防災対策課に相談してほしい。

広江・住民：災害公営住宅入居自体を検討している状況であるが。

市 長：5月に入居希望を聞くので、その際に戻るかどうかも含めてお考えを伺いたい。

寺地・住民：くらしの応援商品券について。2月に郵送と言われたが、震災から2年たっていて、いろんなどころに点在している。1/1住民票登録者と聞いたが、住所は把握しているのか。

市 長：基本は、輪島市に住所を残している方に配布する。市外に出られた方には配布しない。配布にはゆうパックを使うが、住所は個人が郵便局に届け出を出している方であれば届くことになる。

寺地・住民：1年前に住所を変えたが、転送期間が今月で切れる、そういう方もいるので、

どこまで対応されるのか。市の方針として、転送するのかどうか。

市 長：転送届は延長できる。万が一戻ってくるようであれば対応する。

寺地・住民：延長は個人がしなくてはいけない。そのため、今回の情報を知らせないといけない。

市 長：転居届の延長をしないと他の郵便物も届かないため、それは各個人で対応いただきたい。

寺地・住民：郵便物届いているかどうか聞いたところ、転送の延長などができるのであればお知らせしないといけないのかなど。ありがとうございます。

広江・住民：土砂災害のレッドゾーンでは建てられないという話を聞いたが、別の場所に家を建てる際に300万円補助をもらえると聞いた。土砂イエローゾーンを買った際にも補助金がでるのか。公営住宅予定地はイエローゾーンと聞いているが、どうなのか。

市 長：広江のJAの周辺はイエローゾーンではないし、広江でイエローゾーンばかりということはない。レッドゾーンからの移転補助300万円については、イエローゾーン外への移転が条件となる。移転先がイエローゾーンの場合は対象外である。

粟蔵・住民：学校再編について、東部地区と言われるエリアは、町野地区と南志見地区だと理解するが、町野という名前がなくなってさみしく感じた。門前は門前学園という名称であるが、町野は東陽となり、町野の名前がなくなった。

復興の感じ方も市域により温度差があり、町野が一番ひどいの遅れているというように感じる。門前にいても、町野はかわいそうだからもっと声を上げるべきという意見も聞き、取り残されているように感じる。ただ、そういった環境のために、最高のボランティアの方が来てくれている。復興商店街も感謝する。

しかし、町野の声が市長に届いていないのではないかと。具体的には、小中学校が通う道路が一部崩れている状況であったが・・・どうしたら市長に対して要望が届くのか。大きい声のみでなく、小さな人の意見を聞いてくれるように市長に声が届く仕組みを作ってほしい。

市 長：そのために支所がある。他には支所がない。支所を通せばすべて上がってくる。町野が一番災害の被害がひどいと言われているが、決して取り残されているわけではない。なぜ声が届かないかということもあるが、支所に話を通してもらえばしっかりと話が通る仕組みになっている。門前地区でも思わず「町野のほうがひどい」と口を滑らせて怒らせてしまったが、みんな、自分の近くが目につくので、「自分のところがひどい」となってしまう。私も気にかけて忘れないようにしているので、支所に声をあげてほしい。

曾々木・住民：仕事で珠洲に行く関係で、市役所本庁が遠い。オンラインで相談・予約できる仕組みはできないか。

市 長：支所でZOOMの端末を用意しているので、支所と本庁をつないでそういった相談も可能である。

曾々木・住民：バイオマス関係で輪島市に戻ってきたが、取組について東部地区では。

市 長：バイオマスの会社の運営が始まるには3年ほどかかる。能登空港周辺などのいくつ

かの候補地がある。これまであったバイオマスの会社は、ガス化して発電する仕組みらしいが、日本では成功していない。今回こられる会社は全国で行っている仕組みを活用しており問題ないと考えている。

曾々木・住民：バイオマスは色んな産業に波及して、その恩恵が受けられるようにしたい。

市 長：発電と熱利用の両方が図られるようにしたい。

曾々木・住民：見守りについて、第二団地自治会で現在北陸電力の見守りサービスを導入しているが、東京電力子会社による新たな見守りサービスも検討しており、両方入れられるように実証実験などで協力してもらえないか。七尾でも同様の取組が始まっていると聞いている。

市 長：一度市役所に相談に来ていただきたい。今現在稼働しているやり方以外に、実証実験ということであれば行けるかもしれない。現在の北陸電力の方法と合わせてうまくいくか、あとは費用ということになると思う。

曾々木・住民：既存の見守りとの併用や費用面が心配である。

市 長：費用と、その担当をどうするのが発生するので、検討させていただきたい。現行の見守りシステムは1台当たり月額約3,000円で、そのうち2,000円を市が補助し、1,000円を利用者負担としている。新たな方式を導入する場合も、同様に費用負担や運営体制を含めて整理する必要がある。

第二仮設団地・住民：奥能登統合病院について。病気にかかる前に兆候を見つけるという観点で、健康寿命を延ばす施策の必要性があるのではないかと。仮設住宅では8割以上が後期高齢者であり、これから災害公営住宅に入ろうとしたときにもほとんどがお年寄りになるので、見守り活動などを継続し健康寿命を延ばす取組が必要ではないか。そういうことも考えてやろうと考えている。

市 長：健康的に日常生活を送ることは重要であり、仮設住宅でも100歳体操を行うなど行政も進めており、NPO法人とも協力している。見守りも続けており、閉じこもりがちになる方に対して、健康に過ごしてもらおうと考えている。見守りについてはシステムの実証実験をしており、今後も相談しながら進めたい。

金蔵・住民：くらし応援商品券について、対象は輪島市内だと思うが、その制限はあるか（商店連盟加盟とか）。

市 長：基本的に金券類や公共料金には使えないが、輪島市内の店が届け出を市に出してもらえれば、そこで使える。商工会議所に加盟をしていなくても問題ない。

金蔵・住民：漆器商工課に届ければいいのか。逆にいうと届出をしない店では使えないということか。

市 長：これまで商品券をいろいろやってきたが、基本は各事業者に照会をかけるが、新規は届出してほしい。

金蔵・住民：木造仮設住宅を災害公営住宅に約30戸ほど転用するということだが、もともとはスポーツ場であった。この後も公営住宅として使い続けると思うが、町野のスポーツ施設の整備方針をどうお考えか。

市 長：悩ましい。正式には皆さんとの話で決めていくということだが、現段階では決まっていない。

金蔵・住民：東陽小中学校になるが、名称が決まった経緯は何か。夏前に説明会で、校名の

実行委員会を作るという話を聞いたが、次に校名が決まったという報道だった。決定経緯を教えてください。

木下教育部長：輪島市内では学校再編により4校になるが、校名は地域の思いが大事になると思い、区長会長、保護者の代表、公民館長などの地元代表に集まっていたきどのような名称にするか議論いただいた。東部地区は小中学校になるが、小中学校が良いか、学園が良いかといったこともお聞きした。その後、保護者との会合を行って、最終的に東陽小中学校に決まった。町野という名称が無くなることはきみしいとお聞きしているが、南志見小学校がなくなるときに、決められた大事な名前であったため、その名称を使うことになった。

金蔵・住民：これに限らず、地域のほうとしては、実行委員会が誰で、みたいのが分からなかったもので、少なくともこういうステップや委員の構成などをお知らせがあれば、共有ができるかと思う。

大川・住民：大倉市営住宅の入居募集はまだしていないと思うが、いつ頃から募集するのか。

市長：募集は今年2月から開始予定。使える使えないところあるが、修繕については入札不調になり、再入札を行う。できるだけ早くなおしていきたい。

大川・住民：募集期間は何月までか。

市長：募集要項はまだ出ていないが、2月末までと考えている。広報にも載る。

大川・住民：仮設住宅を工事業者などに賃貸で貸出するという報道も見たが、輪島市でも実施する予定はあるのか。

市長：仮設住宅の活用は考えているが、輪島市では、木造型の割合が高いため、災害公営住宅への転用に対する要望が多い。空き住戸は出てきているが、仮設住宅を改修して利用することになるため、現在の入居者が一度転居する必要があり、その調整が必要となるため、現在の空き状況では厳しい。ただ、その後空きが出れば考えることになる。なお、様々な支援に入っている方の住居もないため、そういった方々を検討した後に、そういった方への対応を考えることになると思う。

広江・住民：小学校の旧校舎はどのように活用するのか。まだまだ使えそうだが。

市長：基本的には地元の方と相談して使い方を考えたい。現在は、保育所と児童クラブが使っており、そのまま使いたい。体育館もそうである。また、支所・公民館を取り壊す可能性があり、そういった機能も必要であり、皆さんと相談したい。

鈴屋・住民：道路河川的设计済み箇所が資料によると9割となっているが、鈴屋川の上流、市道などはその9割に入っているのか。それとも令和8年度以降になっているのか。

市長：鈴屋川上流は国にお願いしているが、県道の話は別途説明があったかと思うが、市道についても県道から寺山に向かう道も復旧に向けて動く。

鈴屋・住民：鈴屋川の権田橋の上流が全然手が付いてない。越水する状況。

市長：そこも入っている。国が砂防事業を行っている。

鈴屋・住民：砂防ダムが整備されることは理解しているが、河川整備はどうか。

田川建設部技監：国の法で権限代行で実施。権田橋付近の上流下流についても国のほうで流路工をやってもらうよう協議中。

鈴屋・住民：国交省が対応するということか。

田川建設部技監：もともとは市管轄だったが、国と協議をしている。

鈴屋・住民：ケーブルテレビの復旧はどういう状況か。

山本企画振興部長：ケーブルテレビについては、国から支援いただき令和7、8、9年の3か年で、門前の方から始めている。令和8年が市街地、令和9年が町野になる。光ケーブルを整備しており、それに合わせてケーブルテレビも整備する。

市長：ケーブルテレビの本局が門前にある関係で、門前から順につなぐこととなっている。

鈴屋・住民：町野では来年まで見られないということか。

市長：一部のチャンネルは見られないが、テレビは見られるのではないか。

鈴屋・住民：鈴屋地区では見られない。

山本企画振興部長：詳細を教えてください、月曜日に連絡させていただく。

鈴屋・住民：鈴屋の防災無線が全然動いていない。やっと防災無線の柱が立ったが放送されていない。

市長：了解した。順次直していく。

鈴屋・住民：現在鈴屋のがけ地がはげ山になっており、何か良い方法がないか。

田川建設部技監：鈴屋地区は急傾斜地区だと思うが、県の所管であるが、竹が覆い被さっていることか？

鈴屋・住民：がけ崩れがひどい。県土木には相談した。住むのであれば優先的に直すといわれたが、時間がかかる雰囲気であった。ただ、時間がたつとよりひどい状況になるため、安心して暮らせるようにしてもらいたい。また、山の上から下に水が流れて道路が水浸しの状況。そこも早く直してもらわないと、家に帰って住めと言われても安全でないと住めない。土砂イエローゾーンで住める状態と言われたので戻すことにしたが、水がながれている状況では安心して住めない。

田川建設部技監：県から説明があったと思うが、家の再建を要望される地区から早く進めるということであったが、いつまでかという話は県から聞いていない。市からも早く直していただけるように要望したい。

なお、もともと施設があった場所は災害復旧になるが、何もないところに施設整備をしようとするとう災害復旧にならないため、予算が異なることになり、時間が必要になる。いずれにしても、再建のために急ぐ必要があれば、県に要請していきたい。情報が届き次第ご連絡したい。

金蔵：住民：スポーツ施設が解体されたあと、電気ケーブルが地面に置かれたままの状態。どうするか。公衆トイレも使えなくなっている。

市長：電気ケーブルは確認して対応する。トイレは直す段取りをしている。

以上

